

社会連携に関する主な活動（平成30年度の取組）

（平成31年3月）

①学生との連携

▶学生が、企業や団体と連携し、以下の取組みを行いました。

- 生活科学部の学生が、JA あいち経済連と味の素（株）と連携して実施した料理教室のレシピを考案しました。
- 生活科学部の学生が、授業で制作したミニタウンを近隣のショッピングゾーンに展示し、クリスマスイルミネーションを盛り上げました。また、デザイン研究会の学生が、「椋山桜灯り回廊」で灯籠を制作し、大学の夜桜一般開放のイベントを盛り上げました。
- 人間関係学部の学生が、日進市民会館で開催された男女共同参画のイベントにブース出展しました。
- 文化情報学部の学生が、「あいちワークショップ・ギャザリング」に出展し、参加した子どもたちに電子工作やプログラミングの楽しさを伝えました。
- 文化情報学部の学生が、名古屋市と連携して、市の広報映像を制作しました。
- 文化情報学部の学生が、名古屋市鶴舞中央図書館と東山遊園（株）と連携したイベントで、司書のアドバイスを受け、子ども向けの工作の下準備、絵本や紙芝居を読む練習、チラシの制作を行いました。
- 現代マネジメント学部の学生グループが、資生堂ジャパン（株）と連携し、若い世代の女性のリアルな目線で化粧品の企画提案を行いました。
- 現代マネジメント学部の学生が、（株）スマイルリンクと連携して、名古屋みやげの開発を行うプロジェクトに参加し、商品開発を行いました。
- 看護学部の学生が、千種区地域包括ケア推進会認知症専門部会主催の「はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練」のイベントに協力しました。
- その他、ボランティア活動として、学生が、自治体や学校などから依頼を受け、防災訓練、学習、キャンプ、読み聞かせなどの活動を行いました。また、ボランティアサークル（「はぴなす」、「うえるかむ」）が、地域の施設で行われるイベントに協力しました。

※上記以外にも、多数の連携活動が行われています。詳細は、本学のウェブサイト（News 新着情報）をご覧ください。

<http://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/social/partnership/>

②受託研究・共同研究

▶教員が、企業、自治体、教育機関などと連携して受託研究・共同研究を行いました。

- 製薬会社との受託研究
- 国立研究開発法人との受託研究
- 国立大学法人との受託研究
- 名古屋市との受託研究
- 社会医療法人との受託研究
- 医薬品製造会社との共同研究
- 食品会社との共同研究

③講師派遣

▶教員が、企業・自治体などで講義・講演を行いました。

- 刈谷市教育委員会が主催するセミナーで、栄養に関する講演を行いました。
- 障害者自立支援連絡協議会の講演会で、発達障害のある子どもの子育てをテーマに講演を行いました。
- 名古屋市教育委員会が主催する講座で、ジェンダーや女性のライフスタイルに関する講演を行いました。
- 春日井市が主催する講座で、仏像鑑賞に関する講演を行いました。
- 東山遊園（株）が主催するセミナーの中で、クルーズ客船に関する講演を行いました。
- 稲沢市教育委員会が主催するセミナーで、「子育てを行うヒント」をテーマに講演を行いました。

④連携講座

▶自治体と連携した講座を開催しました。

- 日進市教育委員会との連携事業で、「生活を科学する」（食と暮らし、地震に負けない住宅、カラーユニバーサルデザイン）というテーマに講座を開催しました。
- 日進市教育委員会との連携事業で、「認知症の心理学」というテーマに講座を開催しました。
- 日進市教育委員会との連携講座（子供向け）で、映像に関する講座を開催しました。
- 名古屋市及び日進市との連携事業で、健康促進に関する講座を開催しました。
- 名古屋市教育委員会との連携事業で、能楽鑑賞に関する講座を開催しました。
- 名古屋市千種生涯学習センターとの共催で、「世界の文化と食」をテーマに講座を開催しました。
- 東海農政局、名古屋大学大学院生命農学研究科との共催で、食に関するシンポジウムを開催しました。